

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

## ◇ 消費税滞納は4年振りに減少

**Q** : 国税庁から最近の消費税の滞納状況が公表されたそうですが、内容を教えてください。

**A** : 新規発生滞納額は、前年同期と比べて15.4%の減少となっています。

### 【解説】

国税庁はこのほど、平成11年4月～12月分の「最近の消費税の滞納状況」をとりまとめ公表しました。この時期の滞納状況の公表は異例で、社会問題化している消費税の滞納を、国税当局が重要視していることがうかがえます。

公表された結果によると、新規発生滞納額は4,049億円で前年同期比15.4%の減少となっています。新規発生滞納額が減少したのは4年振りのことで、減少率は過去最大です。

整理済額は3,769億円（前年同期比4.6%減少）と前年を若干下回ったものの、高水準を維持しています。結果として期間中の滞納整理中の額の増加額は280億円（前年同期比66.5%減少）となり、大幅に減少しました。

消費税の新規発生滞納額が減少した原因としては、①国、地方公共団体における入札参加審査に際しての消費税納税証明書の添付要請、②消費税納税備蓄資金の取扱金融機関の増加、③預り金的性格の周知、といった未然防止策が挙げられます。特に①の添付要請を受け入れた機関はここに来て急激に増加しており、公的機関における入札のほぼ全てにおいて消費税納税が義務づけられる格好となっています。



KIMIYO・I